

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0170502298		
法人名	有限会社 優コーポレーション		
事業所名	グループホーム 厚宮館		
所在地	札幌市厚別区厚別西3条1丁目1番30 - 2号		
自己評価作成日	平成22年8月20日	評価結果市町村受理日	平成22年9月30日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

日頃より入居者様の健康管理に注意を払い、体調に変化が見受けられた場合には速やかに協力医療機関と連絡をとり、速やかに必要な治療を受けて頂き、少しでも長くお元気で過ごして頂けるようサポートすることを心掛けております。

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://system.kaigojoho-hokkaido.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0170502298&SCD=320
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	平成22年9月7日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

グループホーム厚宮館は閑静な住宅街の遊歩道に面しており、四季の移り変わりを肌で感じながら利用者が安心して散歩を楽しむ事ができる自然環境に恵まれた事業所である。館長は常に向上心を持ってケアに取り組み、自ら行動で示して職員を指導するなど、日々充実したケアに取り組んでいる。サービス評価においては、評価の意義の理解と活用を前向きに取り組み、自己評価の実施方法の改善や外部評価結果の質の確保・向上に繋げている。館長と職員は理念に掲げるように、家庭的な環境のもと利用者一人ひとりの残存能力を見極め、可能な限り自立した生活ができるように家族や地域と共に温かな支援を行っている。職員は利用者一人ひとりの関わりを大切に心身の変化に配慮し、母体の医療法人と連携して充実した医療体制を整える事で家族にも安心感を与えている。各ユニット毎に、精神面のケアの充実や利用者同士の楽しい会話を引き出すケアなど特色を生かした関わりが大切に行われている。町内会の運動会や花植え、公園清掃などの行事に積極的に参加する事で地域交流も深められ、地域の一員として徐々に馴染んでいる。利用者は、明るくゆったりとした生活環境の中で、穏やかな笑顔で楽しい日々を過ごしている。

サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します				
項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当するものに印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)			

(別紙4-1)

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念を掲げそれを実践しています。	地域社会の一員として積極的に地域活動に参加できるように支援するという、地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所独自の理念を館長と職員で開設時に作成している。館長は、会議や日々のケアの中で理念に触れ、全職員で共有できるように努めている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	町内会の行事には入居者・職員共積極的に参加し、地域の方々との交流を図っています。	町内会に加入して、沿道の花植えや運動会、公園清掃に利用者と職員が参加している。事業所の夏祭りや餅つきには町内会や小学校から備品を借りたり、近隣住民の手伝いを受けるなどの交流も行われている。近隣の人が花を持って来てくれる事もある。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	ご相談があればその都度助言などを行っています。		
4	3	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	御利用者様に対してのサービスの報告は行っておりますが、評価の取組状況などは報告していません。	運営推進会議は、町内会代表、地域包括支援センター職員、民生委員、家族などが参加して2～3ヶ月毎に開催している。利用者の状況、職員採用や退職の報告、災害援助などについて活発な意見交換が行われているが、外部評価は結果報告にとどまっている。	外部評価結果についても議題に取り上げる事で、参加者から活発な意見を収集し、更なるサービスの向上に繋げるように期待したい。
5	4	市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	事務手続きの連絡が主であり、あまり交流する機会が持っておりません。	館長が数ヶ月毎に区役所を訪問している。現状において相談事はあまり無いため、介護保険の更新や生活保護利用者の近況報告、事務手続きなどが中心になっているが、常に担当職員と協力関係が築けるように取り組んでいる。	
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	禁止の対象となる行為を理解し、夜間の玄関施錠は行っているが、身体拘束をしないケアを実践していません。	日々のケアにおいて、身体拘束について館長が話したり、身体拘束の研修会参加後に資料を配付して、各職員が常に意識して身体拘束をしないケアの実践に取り組んでいる。ユニットや玄関の施錠は夜間のみ行い、自由に利用者が外出できるようにしている。	今年度は、全体会議において身体拘束について勉強会を行う予定なので、言葉による拘束なども含め、全職員で身体拘束について更に理解が深められるように期待したい。
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	事業所内では身体的また、言葉による虐待は行っておりません。身体面では傷・アザ等の観察を行い、発見時には図入りで記録に残し事故か虐待かを見極め虐待の防止に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	地域権利擁護事業や成年後見制度について、学ぶ機会を持っておりません。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	その都度説明し理解納得を得られるように努めています。またご家族より疑問、不安などの相談があった場合には理解して頂けるように説明しております。		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時や運営推進会議でご家族の意見を収集しています。玄関横に意見箱を設置し、投入用紙は選択式の様式にする等工夫しています。重要事項説明書に外部の苦情受付期間の連絡先を記載しています。	利用者の体調や気になる事などは早めに家族に伝え、家族の来訪時には積極的に話かけ、心配事や気付いた事がないかを聞く事で信頼関係が深められるように努めている。家族から防災について心配している事を聞き、安心できるように説明をしている。	
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日々の申し送りや月例のスタッフ会議等で、随時職員の意見や提案を聞いています。	職員は、毎月のユニット会議や日々のケアの中で自由に意見交換ができていていると感じている。館長は、新人採用半年後に面談を行ったり、夜勤の時に困っている事や気になる事などを聞いて、各職員の思いを把握するように努めている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	普段、接する機会が少ない。		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修、講習を段階に応じて行っており、案内等は職員が閲覧でき参加希望者には参加できる様に業務面での支援を行っています。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域の同業者との交流や勉強会の機会を設け活動しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	御利用者様の訴えを傾聴し受け止める努力をしています。		
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	御家族様の相談には機会を作ってお話を伺い受け止める努力をしています。		
17		<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	管理者・職員間でカンファレンスを設け、必要としている支援の見極めに努めています。		
18		<p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	御利用者様の気持ちや立場を良く理解し、御利用者様の気持ちになり支え合う関係作りに努力しています。		
19		<p>本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	信頼関係を構築出来るよう努めています。		
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	御利用者様の馴染みの人や場所との繋がりを大切にし、連絡などの支援を可能な限り行っています。	家族の協力を得ながら、自宅訪問やお墓参りなど、それぞれの利用者の希望を可能な限り受け入れて、馴染みの場所との関係継続ができるように支援している。兄弟や友人に電話をかける時に手伝いをするなど、馴染みの人との関係も継続できるように支援している。	
21		<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	利用者同士の関係をきちんと把握し、問題が起きないように配慮し、共通して楽しめる行事や話題づくりを支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	利用終了に際しても引き続き御家族様が、ホームに立ち寄れる関係を続けております。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご利用者様の今まで歩んでこられた人生を踏まえ、希望や意向に沿うように努力しております。	利用者同士の会話や言葉、表情や動作などから思いを把握する事で、希望や意向に沿ってケアできるように支援している。情報は、申し送りや記録で全職員が共有できるように工夫している。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に御家族様から頂いた情報を職員で共有しております。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人一人の心身状態を把握し、個々の支援に役立てております。		
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要の関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	御本人の課題をカンファレンスを設け、介護支援専門員や職員で意見を出し合い、介護計画を作成しています。	新規利用者の介護計画は、1ヶ月後に見直しを行っている。定期的な見直しは、担当職員が本人の意向を把握して暫定計画を作成し、計画作成者と共に全職員の意見をもらい、3ヶ月前後で見直しを行っている。心身状態の変化に伴い、随時計画の見直しを行っている。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子や介護の実践は個別記録に記録し、情報を共有してカンファレンスにて介護計画の見直しをしております。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	医療機関への通院や、訪問マッサージ、訪問理美容等、個々の要望に応じた支援に努めています。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	警察消防とは協力体制を取っており、行事などの際必要に応じボランティアの方々のご協力を頂いており、民生委員や地域の方には運営推進会議を通じてご協力を頂いております。		
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関以外の通院等個々の要望に応じた支援に努めております。	眼科などのかかりつけ医は、利用開始後も家族の協力のもと、継続して受診できるように支援している。職員が通院支援を行う時は、受診後に状況を電話で家族に報告している。専門医も協力医療機関の紹介により、適切な医療が受けられるように支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	協力医療機関の看護師による週一回の訪問の他、24時間いつでも相談・支援を受けられる体制が整っております。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	出来るだけ早期に退院出来るよう医師より経過報告を受けながら、いつでも退院後の受け入れが出来るよう準備を整えております。また入院中は、管理者が時間の許す限り面会しております。		
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合や終末期のあり方について御家族には説明を行っており、必要に応じて主治医との話し合いの場を設けております。	利用開始時に、利用者や家族に重度化に対する事業所の方針を文書で説明して同意を得ている。看取りにおける対応は、その都度関係者で話し合い書面で確認を行う事を説明している。	
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	管理者・職員は応急手当の訓練や初期対応に関して定期的に確認を行い対応できるようにしています。		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害時の訓練は、昼夜共に消防等の協力を得て全職員が身につけ、地域の方には運営推進会議を通じてご協力を頂いております。	消防署の協力の下、4月に夜間の火災を想定した避難訓練を行い、地域住民も見学している。9月にも夜間想定火災訓練を行う予定であり、今後は地域住民と共に災害訓練を行う予定である。地域の防災組織連絡網が作成され、事業所も加入している。	町内会と共に火災以外の災害訓練も行う事で、具体的な協力体制が確立されるように期待したい。職員の救急救命講習も定期的に受講する予定なので、その取り組みに期待したい。
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉遣いや接し方は接遇の基本をわきまえながら、状況に応じて、親しみのある言葉がけで対応させて頂いております。個人情報を含めた記録などの扱いは管理を徹底しています。	誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけについて、反省の評価を行うなど職員自身が日々振り返っている様子が窺える。職員同士がアドバイスや注意をし合い、不適切な接遇にならないよう会議の中で周知している。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者様が思いや希望を訴えられた時は、傾聴し、御希望に沿えるように支援し、自己決定出来ない方には、その思いを汲み取る努力をしています。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	団体生活の中で一人一人がどのように過ごしたいか日々の観察から御希望に沿えるよう支援しております。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	自己決定出来る方はそれを尊重し、自己決定が困難な方には、その人らしいおしゃれが出来るよう支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員と一緒に個々にあった作業をし、食に対し興味を持って頂けるよう、出来る方に参加して頂いております。	味付けのアドバイスをもらったり、食事の下ごしらえではすり鉢での作業や野菜を刻んでもらうなど、食事一連の流れに携わってもらっている。外食や記念日を祝う食事などを盛り込み、食への楽しみを高める支援を行っている。		
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食材及び栄養管理されたものを提供しております。食事・水分摂取量が一目で分かる表を活用し、摂取量の把握に努めております。			
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、必ず入居者様の自立度に合わせて、見守りまたは全介助にて口腔ケアを行い、口腔内の状態の把握に努めております。また、口腔内を清潔に保つ重要性について職員は常に理解するように努めております。			
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	御利用者様の排泄パターンを把握し、表情・行動等の変化を見逃さないようにし、声掛けを行っております。	水分摂取量・排尿・排便の記録シートを用いて、利用者の排泄パターンの把握や持病に対する適切な排泄支援ができるよう情報を共有している。日中帯は可能な限り衛生用品使用を最小限にとどめ、声かけ誘導でトイレでの排泄に力を注いでいる。		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	日常生活での運動、水分摂取量のアップや腹部のマッサージ等により自然排便を心掛けているが、スムーズにいかない場合は医師に相談の上指示を仰ぎ対処しています。また排便チェック表できちんと管理を行っています。			
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	御利用者様の体調や気分を観察・把握し、リラックスして入浴して頂けるよう努めています。	おおそ午後の時間帯で入浴を支援し、利用者の状態や意向によっては午前中の支援や夕食前の時間帯まで可能である。カレンダーに入浴した日を記入したり、利用者へ、入浴の大切さを医師や看護師から伝えてもらう事で入浴を促すなど、チームプレイで衛生保持に努めている。		
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の体調や状況を考慮し、適時休息・午睡を取って頂いております。			
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の出し入れ・手渡し、服用の際に職員が三度のチェックを行い、誤薬が起きないように徹底しております。			
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の生活歴を考慮しながら、得手・不得手を把握し、料理・園芸等を職員と一緒に進めています。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>一人一人の希望に沿う事はできませんが、出来る限り戸外へ出掛けられるよう支援をしております。</p>	<p>日々の散歩は、近隣の緑豊かな遊歩道、河川敷パークゴルフ場へ、ラベンダー摘みや見学を兼ねて出かけている。行事的な外出では、さくらんぼへの炊事遠足やお花見、紅葉狩り、雪まつり鑑賞などで季節を味わい、心身の活性化を促す目的を交えながら取り組んでいる。個別外出は、買い物を中心に利用者の意向や満足感に配慮して行っている。</p>	
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ほとんどの御利用者様はお金の管理はできませんが、御本人がお金を持つ事の大切さを考慮し、御家族様と職員が協力し、お金を所持し使うことを支援しています。</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>御利用者様の希望があれば、手紙や電話は出来るようにしております。</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>絵画や植物、御利用者様が製作した作品等を置き、居心地良く過ごして頂けるような、工夫をしております。</p>	<p>玄関は引戸で解放間口が広く、家庭的な靴収納を壁面に備え付け広いスペースを確保している。対面式キッチンには2方向からの出入りができ、ダイニングと和の設えを施したりリビングとがゆったりとした一つの空間となっている。空気清浄機やエアコンディショナー、電動リフト付き浴槽を設置し、安全面や室温対策などに取り組んでいる。</p>	
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ソファの配置を工夫し、ご利用者様が思い思いに過ごせる場所を確保しております。</p>		
54	20	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居時にご利用者様が使い慣れ親しんだ家具や食器を持ってきて頂けるよう説明しています。</p>	<p>利用者が安心して自室で過ごせるように使い慣れた家具を持ち込んでもらい、見て触れて安心できる写真や物品なども個性を活かしたセッティングに配慮している。家族の居室作りへの意向を介護計画に盛り込んでいるケースがあり、本人が落ち着いて過ごせるための支援を行っている。</p>	
55		<p>一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>建物内はバリアフリーとし、手すりの設置や、階段を利用することで、身体機能を発揮できる造りにしています。</p>		

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0170502298		
法人名	有限会社 優コーポレーション		
事業所名	グループホーム 厚宮館		
所在地	札幌市厚別区厚別西3条1丁目1番30 - 2号		
自己評価作成日	平成22年8月21日	評価結果市町村受理日	平成22年9月30日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>日頃より入居者様の健康管理に注意を払い、体調の変化に気付いた際には、協力医療機関と連絡・相談のうえ、必要であれば速やかに治療を受けていただき、少しでも長くグループホームで過ごして頂けるようサポートすることを心掛けている。</p>

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://system.kaigojoho-hokkaido.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0170502298&SCD=320
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	平成22年9月7日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します				
項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当するものに印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)			

(別紙4-1)

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念を揚げ、それを実践しています。		
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣の方々とは普段より挨拶を欠かさず行き、馴染みの関係を作るよう努めています。		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	御相談があれば、その都度助言などを行っております。		
4	3	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	御利用者様に対してのサービスの実際の報告は行っておりますが、評価の取り組み状況等は報告していません。		
5	4	市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	行き来する機会がありません。		
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	現時点では身体拘束は一切していません。		
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止法等に関しては全ての職員が学ぶ機会を持っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	日常生活自立支援事業や成年後見制度について、学ぶ機会を持っておりません。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	その都度説明し、理解・納得を得るように努めています。		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	御家族様より不満・苦情があった場合、職員全員が会議を持ち、改善するように努めております。		
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日々の申し送りや月例のスタッフ会議等、随時職員の意見や提案を聞いています。		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	普段接する機会が少ない。		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修・講習を段階に応じて行っており、案内等は職員が閲覧できるようにしております。参加希望者に対しても、参加できるよう勤務の調整や業務面での支援を行っております。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域の同業者との交流や勉強会の機会を持つべく、活動しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	御利用者様の訴えを傾聴し受け止める努力をしております。		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	御家族様の相談には機会を作って伺い、受け止める努力をしております。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	3ヶ月ごとにケアプランを見直し対応しております。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	御利用者様の気持ちや立場を良く理解し、支え合う関係づくりに努力しています。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	信頼関係を構築できるよう努めております。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	つながりを大切にし、連絡等の支援を快く行っています。		
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	御利用者様同士の関係を踏まえさり気なく職員が交流の手助けをしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	利用終了に際しても引き続き、御家族様がホームに立ち寄れる関係を続けております。		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	御利用者様の今まで歩んで来られた人生を踏まえ、希望や意向に沿うよう努力しています。		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に御家族様から頂いた情報を職員で共有しています。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人一人の心身状態を把握し、支援に役立てております。		
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	御利用者様の立場に立ち、御本人・御家族さまの要望、意見を取り入れ介護計画を立案しています。		
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子や介護の実践は個別記録に記入し情報を共有してカンファレンスにて介護計画の見直しをしております。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んではいるがあまり実施されていない。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域資源を把握し、支援してはいるがあまり活用されていない。		
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及び家族等の希望を大切に適切な医療を受けられるよう支援しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	協力医療機関の看護師による週一回の訪問の他、24時間いつでも相談、支援を受けられる体制が整っています。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	御利用者様が入院した際、病院関係者との情報交換や相談に努め関係づくりを行っております。		
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合や終末期のあり方について本人・御家族等と話し合いを行い方針を共有している。		
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っております。		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	建物の構造を理解した上で火災・災害発生時の避難方法を独自のマニュアルを作成し、職員間で熟知するよう努めております。加えて年一回以上消防訓練を実施しております。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉や対応ができない場面もある。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	御利用者様の状況を把握し、自分らしく生活できるよう努めています。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	御利用者様の生活のペースを把握し、個々の満足が得られるように努めております。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援できていない場面もある。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員と一緒に個々にあった作業を行うように努めています。		
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分の摂取量をチェックし、一日を通して摂取していただけるように支援しています。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	可能な限り出来る方には自己で行っていただき、自己で行うことが困難な方には援助しています。		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	御本人の排泄パターンの把握に努め表情・行動の変化を見逃さないようにし、声かけしています。		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	日常より、自然排便を心掛けているが、排便がスムーズに行かない場合は医師に相談し対処しています。		
45	17	入浴を楽しむことのできる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	御察者様の体調や気分を観察・把握しリラックスして入浴していただけるよう努めています。		
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の体調や状況を考慮し、適時休息をとっていただいています。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤情報は常に職員が閲覧できる場所に、整理整頓されています。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の生活歴を考慮しながら、得手・不得手を把握し、料理、園芸などを職員と一緒にしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>一人ひとりの希望に沿うことはできませんが、できる限り戸外に出かけられるよう支援をしております。</p>		
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ほとんどの御利用者様はお金の管理はできませんが、御本人がお金を持つ事の大切さを考慮し、御家族様と職員が協力し、お金を所持、使うことを支援しています。</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>御利用者様のご希望があれば、手紙や電話はできるようにしております。</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>絵画や植物、御利用者様が製作した作品などを置き、居心地良く過ごして頂けるような工夫をしています。</p>		
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ソファの配置を工夫し、御利用者が思い思いに過ごせる場所を確保しています。</p>		
54	20	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居時に御利用者様が使い慣れ親しんだ家具や食器を持ってきていただけるよう説明しています。</p>		
55		<p>一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>建物内はバリアフリーとし、手すりの設置や階段を利用することで身体機能を発揮できる造りにしています。</p>		

目標達成計画

事業所名 グループホーム厚宮館

作成日：平成 22 年 9 月 22 日

市町村届出日：平成 22 年 9 月 30 日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議において外部評価は結果報告のみにとどまっている。	運営推進会議において外部評価結果について議題に取り上げ、参加者から意見を収集し、今後のサービス向上に繋げる。	近々の運営推進会議において外部評価結果について議題に取り上げ、参加者の皆様より意見を頂くとともに、ご意見をもとに職員全員で今後の取り組みについて検討し実践するよう努める。また運営推進会議にて随時報告を行う。	1ヶ月
2	6	身体拘束について管理者が話しをしたり、資料の配布を行っているが、全体会議等での勉強会を実施できていない。	全体会議などで身体拘束の勉強会を行い、職員の身体拘束についての理解向上を図る。	近々の全体会議において、身体拘束の勉強会を行い、職員に対し身体拘束についての理解を深める。	3ヶ月
3	35	4月に夜間の火災を想定した避難訓練を実施の際、地域住民も見学しているが参加していただくに至っておらず、火災以外を想定した避難訓練は実施していない。	火災などの災害に備え、地域住民の協力体制の充実を図るとともに、火災以外の災害を想定した訓練の実施を図る。	地域住民に対し、避難訓練への協力を呼びかけるとともに、町内会の防災訓練にも積極的に参加し、地域との連携の更なる強化をはかる。また、職員全員を対象に、定期的に救急救命訓練の受講を進める。	1年
4					
5					

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。